

「前進あるのみ!!!」
～収穫を遅らせべからず～

エレ 7:23~26, 使徒 9:31,
ピリ 3:12~14

あなたの刈り取ろうとしているものを悪いものが狙っています。本当にあともうちょっとというところで取られてしまうことがあります。「私たちは畑が色づいているのを見て“収穫までもう少しある”と言ってはならない」と聖書に書いてあります。天候が悪くても、遅くても、やることをしていれば必ず収穫の時は来ます。私たちの価値観ではなくて、いつも、いつが刈り取りの時期なのか、私たちはチャンスを見逃さないように判断しなければいけません。うさぎとかめの話があります。うさぎはあともうちょっとというところで「まだ自分より遅いやつがいる。自分はまだ大丈夫」といって傲慢になり、寝てしまいました。しかし、かめはコツコツと日々前進し続けて先にゴールしました。うさぎは大慌てで追いかけてももう後のまつりでした。ここで初めて後悔が生じます。「ああ、やっとならばよかったな」と言うのです。私たちにもこのような経験があるのではないのでしょうか？私たちはこのような経験を何度繰り返しているでしょう。神さまの恵みは私たちの上に用意されていて、それを見つくと手にすることができますが、見ないと手に入れることができません。それを見続けるためには同じ場所にいるのではなくて、いつも前進し続けて、それに近づかなくてはなりません。神さまの用意されたゴールを目指して進まなければいけません。しかし、イスラエルの民はそうではありませんでした。(エレ 7:23~26) 私たちは、こうならないようにしなければいけません。ただ聞けばいいのです。私たちはうなじをこわくせず、神さまが用意されたことを実行するのみです。前進するのみです。本当に、神さまの計画は目の前に用意されています。私たちは、ただ受け取るだけなのです。やるべきことも知っています。それをこなすことで、神さまが命じる全ての道を歩むことができます。その全ての道を歩んで、私たちがその道から得るものを多く収穫することで幸せになるのです。何がいけないのかというと、止まることと後退することがいけないのです。立ち止まると、受けなくてもいい問題を受けることになります。なぜかと言うと、悪いものがあなたの得物を狙っているからです。「明日のための心配は無用です。明日のことは明日が心配します。労苦はその日その日に十分あります。」と聖書に書かれています。当然、明日の心配をすることはありません。私たちがしなければいけない事は、その日その日の労苦をやり遂げることです。すべきことを先延ばしにしていると、結果、収穫が遅れてしまいます。これは、もったいないことです。使徒の教会は1日に何人の人が救われたでしょう。(使徒 9:31) 1日に男だけで3000人・5000人と救われていったのです。良い状況の教会ではありませんでした。苦しみを受ける中であっても神さまを信じて聖霊に励まされ前進し続けた結果です。また、みなさんは、うしろのものを忘れていませんか？(ピリ 3:12~14) 過去の経験や色々な失敗や問題や「こうなるだろう」と聞いた人からの話をいつまでも頭の中に入れておくと、それがブレーキになってしまいます。うしろのものを忘れて「目標に向かってただ進もうではないか」と聖書は言っています。みなさんは、前進できていますか？もしくは「私はちょっと先に進んだから寝ちゃおう」なんて言っていないですか？そんなことを言っていると悪い奴らに得物を取られてしまいますよ！私たちの得物を取られないように日々前進するためのポイントは、①**信仰によって**。どうなるかを信じてください。信じてやり遂げられると分かっているからできるのです。あなたが信じられなければ毎週教会に来て祈っている意味がありません。あなたが信じたとおりになります。(ローマ 1:17) あなたが正しいことをするためには、主を上におき置かなくてはなりません。羊飼いである主を上におき置いて歩む時に前進することができるのです。②**御霊によって**。使徒の教会で苦しみを受ける中であっても落ち込まなかったのは、聖霊の励ましがあったからです。何かをやろうとする時、一人でしようと思わないでください。祈ればよいのです。「私は信じます。だから、あなたが助けてください。」「私は踏み出します。信じて踏み出すから助けてください」この祈りが大切です。何か行動する前に、いかなる時に祈ってください。(ガラ 5:25) 導いてもらってください。私たちは「行ける行ける」と言われても、分からない道を進めません。ですから、どうやって行ったらよいかを神さまにきいてください。私たちは、御霊によって導かれるのです。③**良い業と言葉によって**。(Ⅱテサ 2:17) 信じて、御霊によって導かれて前進する時に「ああ、嫌だな」と言ってはいけません。心と言葉は1つであるべきです。言葉を整えることができると良い業を行うことができます。良心に従って心で思っていると通りに御霊に導かれた正しい言葉を発してください。すべてが言葉から始まるのです。神さまが天地創造をされた時も、最初に「光よ、あれ」と言われたのです。言葉が私たちを支配しています。ですから私たちは言葉を制しなければいけません。目が見て考えて、心にない言葉を発する前に御霊に導いてもらいましょう。④羊を牧す。私たちは、自らが義を行うために守られています。だから今度は、私たちが誰かを守りましょう。前進するためにはパートナーが必要です。私たちは、導かれる人から導く人へ変わっていくべきです。(Ⅰペテロ 5:2) 困っている人を助ける…羊を牧していきましょう。信仰によって、御霊によって、言葉と良い業を行ってください。すると、私たちには、たくさん子どもができます。私たちが養うべき家族ができます。家族が成長することを助けることで得られる恵みをたくさん得て前進していきましょう。